



無事、修了証を手にして、笑顔いっぱいの実習生の皆さん。

## アジア研修センターでの生活

## ～退寮・配属編～

今回は6月号からシリーズでお伝えしていた「アジア研修センターでの生活」の最終回。当センターでの講習を無事に終え、配属先の事業所に旅立つ実習生の様子をドキュメントします。

配属当日、多くの実習生の皆さんは約1ヶ月の日本語講習を無事に成し遂げた達成感、いよいよ技能実習がスタートすることに対する期待感、また共に学んだ仲間と別れ、未知の世界に旅立つ不安感から複雑な心理状況に置かれます。そんな中でも笑顔で退寮して行く実習生の皆さんの逞しい後姿。

本校スタッフは、実習生の皆さんが当センターで学んだ日本語力を生かし、有意義な実習生活を送れることを願いつつ退寮・配属に立ち合わせていただいています。

### 修了証授与



100時間の基礎講座が修了すると、担当の日本語講師から「修了証」が1人1人の実習生の皆さんに手渡されます。

### 退寮前の大掃除



掃除機の扱いもなれたもの！  
冷蔵庫の中もきれいにおそうじ！！

### 退寮・配属の朝



配属の朝、仲間の荷物の積み込みを手伝う実習生の皆さん。毎回、配属日の朝に見られる心暖まる光景です。



いよいよ、配属。毎回の事ながら、目頭が熱くなる瞬間。「からだにきをつけてがんばってきてくださいーい！」

## TIFLA流日本語授業

## ～会話テスト・評価基準編～

今月号と来月号の TIFLA 流日本語授業では、本校が取り組んでいる会話テストに焦点を当てた特集をお届けいたします。今回は「評価基準編」と題し、先月から日本語講習実施報告書の総合評価欄に記載させていただいている5段階（A～E）の【会話テスト評価基準】のA～Cの評価基準について具体的な解説をさせていただきます。D及びE評価の基準については次号で解説いたします。



日本語講習初日に行なわれている初日会話テスト  
日本語講習を担当する講師同席のもと実施されます。



テスト終了後は2名の講師が結果の分析を行ない2日目以降の具体的な日本語講習の方針を話し合います。こうすることにより実習生1人1人に対するきめ細かい日本語指導が可能になります。

### 【会話テスト評価基準解説】（評価基準は日本語講習実施報告書の総合評価ページから抜粋）

**A 基準：**語彙数・表現力とも豊富で、自然な日本語（日本人が話す通常の速さでの日本語）での日常会話をほぼ完璧に理解し応答も適切か非常に流暢である。

#### 【解説】

このレベルに達した実習生は、いわゆる『日本語がペラペラ』な日本語話者です。来日前に日本人と一緒に仕事をしてきたとか大学や専門学校で数年間日本語を学習した経験の持ち主等が主な該当者と言えます。このレベルに達するにはかなりの時間と労力が必要とされる為、本校での非常に限られた学習時間内でこのレベルに達することは容易ではありません。

**B 基準：**自然な日本語の問い掛けを的確に理解し、語彙数は限られているものの複雑な質問にも答えられる語彙の運用力が認められる。発話にもある程度の流暢さが認められる。

#### 【解説】

このレベルに達した実習生は『日本語がペラペラ』とまでは言えないまでも、相手に「日本語がよく通じるな」と思わせる聴解力があります。また、語彙数は限られているものの語彙の運用力に優れている為、難しい質問にも自分が知っている単語を上手く使って答えることが出来たり、自分の考えを伝えることが出来たりします。テンポのいい発話が可能な為、聞き手に「日本語が上手いな」と言う印象を与えることが出来るレベルです。

**C 基準：**基本的な質問にならば自然な日本語を聞いて幅広い範囲で理解が可能である。語彙は限られているが応答にも支障がない。発話にもある程度の流暢さが認められる。

#### 【解説】

このレベルに達した実習生はある程度広い範囲での会話が可能です。たとえば、「どうして～?」「どうおもう?」等の質問に応じることが出来るレベルです。発話にも多少の流暢さが見られますが、B基準をクリアしている実習生ほど語彙の運用力が高くない為、複雑な質問に対して返答に詰まってしまうことがあります。自分の考えを上手く伝えることもあまり出来ません。反応に時間が掛かり過ぎてしまい、会話がスローテンポになることもあります。